

【公報種別】実用新案法第 14 条の 2 の規定による訂正明細書等の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成 19 年 5 月 24 日 (2007.5.24)

【登録番号】実用新案登録第 3121820 号 (U3121820)

【訂正の登録日】平成 19 年 3 月 7 日 (2007.3.7)

【登録公報発行日】平成 18 年 6 月 1 日 (2006.6.1)

【出願番号】実願 2006-158 (U2006-158)

【国際特許分類】

H 0 4 M 1/02 (2006.01)

F 1 6 C 11/04 (2006.01)

【F I】

H 0 4 M 1/02 C

H 0 4 M 1/02 A

F 1 6 C 11/04 F

【訂正書】

【提出日】平成 19 年 3 月 1 日 (2007.3.1)

【訂正の目的】実用新案登録請求の範囲の減縮

【訂正の内容】

【実用新案登録請求の範囲】

【請求項 1】

第 1 映像が表示される第 1 ディスプレイパネル部と、
 第 2 映像が表示される第 2 ディスプレイパネル部と、
 前記第 2 ディスプレイパネル部を前記第 1 ディスプレイパネル部に回転可能に固定するヒンジ連結部と、
 前記ヒンジ連結部と対向して設けられ、前記第 1 及び第 2 ディスプレイパネル部を電氣的に連結させるための配線が挿入される配線連結部と、
 を含む携帯用の端末機であって、
 前記配線連結部は、
前記第 1 ディスプレイパネル部に突出するように形成される連結片、及び前記第 1 ディスプレイパネル部の内側へ凹んでいる受け片を含む第 1 配線連結部と、
前記第 2 ディスプレイパネル部に形成され、前記第 1 配線連結部の前記受け片に回転可能に装着される第 2 配線連結部と、を含み、
前記第 1 配線連結部の前記連結片は、
上部が前記第 1 ディスプレイパネル部の上へ突出し、下部は前記第 1 ディスプレイパネル部の内部へ入り込み、突出した上部の一側面は閉鎖され、上部の他側面は開放され、下部の左右の両側面は開放される、
ことを特徴とする携帯用の端末機。

【請求項 2】

前記ヒンジ連結部は、
 前記第 1 ディスプレイパネル部に形成され、切開片及び左右の両側面が開放されている連結片からなる第 1 ヒンジ連結部と、
 前記第 2 ディスプレイパネル部に形成され、一側面が前記第 1 ヒンジ連結部の一側面と連通するように開放される第 2 ヒンジ連結部と、
 前記第 1 及び第 2 ヒンジ連結部に挿入されるヒンジ軸とを含む請求項 1 記載の携帯用の端末機。

【請求項 3】

前記ヒンジ軸は、前記第 1 ヒンジ連結部に挿入される第 1 ヒンジ片及び前記第 2 ヒンジ連結部に挿入される第 2 ヒンジ片を含み、前記第 1 ヒンジ片の直径が前記第 2 ヒンジ片の直

径より大きく形成される請求項 2 記載の携帯用の端末機。

【請求項 4】

前記第 2 配線連結部は円筒状からなり、一側面が前記連結片の開放されている下部の一側面と連通するように開放され、この一側面には係合突出部が円周方向に突出して形成され、前記係合突出部は、前記第 1 配線連結部の連結片に回転可能に結合されることを特徴とする請求項 1 記載の携帯用の端末機。

【請求項 5】

前記第 1 及び第 2 ディスプレイパネルを電氣的に連結させるための配線は、前記第 1 配線連結部の連結片及び第 2 配線連結部を貫通するように設けられる請求項 1 記載の携帯用の端末機。